
アプリケーション理解

Excel VBA

【目次】

タイムテーブルを自動作成する.....	3
フェスタのセミナー時間割を作ってみましょう.....	3
複写する位置を計算する.....	5
応用してみよう.....	5

タイムテーブルを自動作成する

今回は、表を自動生成してくれるマクロを作ってみましょう。

フェスタのセミナー時間割を作ってみましょう

まずは、以下の様なシートを作成しましょう

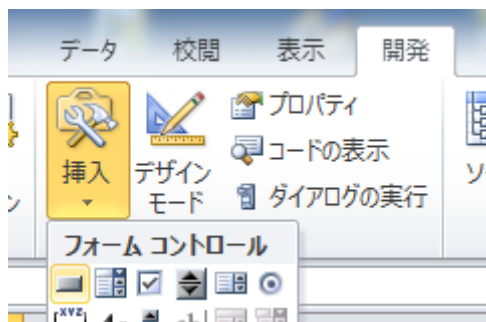
フェスタ タイムテーブル							
時	セミナー	ミニ講座					
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

左側の表にデータを入れて、それが右側のタイムテーブルに自動で入ったら便利ですね。

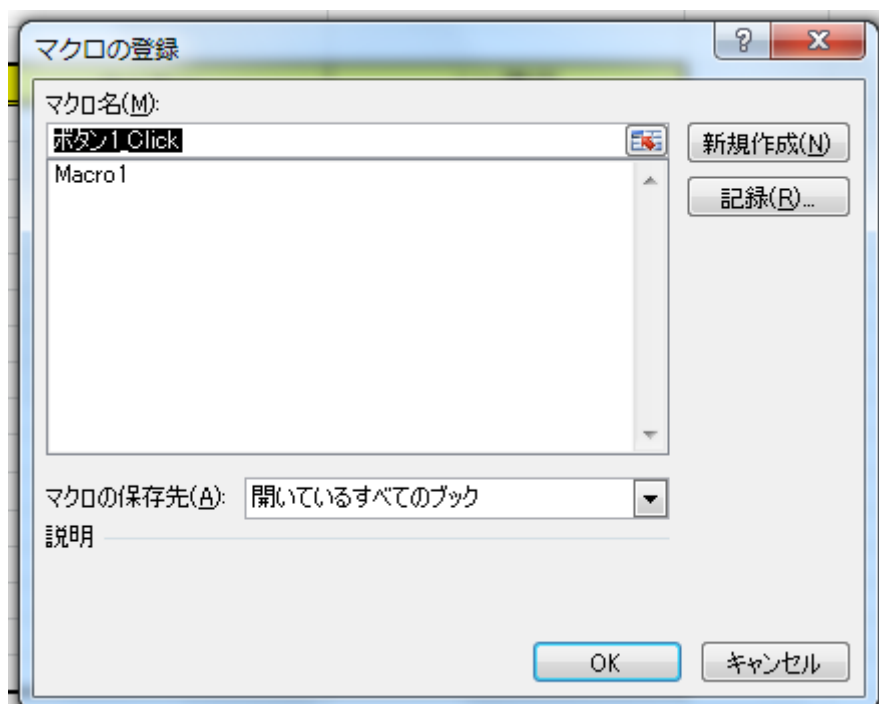
たとえば、以下のように左側に入力したら、それぞれの時間のところに複製されるようにしてみましょう。

1階セミナー会場		時
時	セミナー	
10	初めてのMac	10
13	再生可能エネルギーフェア	11
15	スマホのセキュリティ	12
		13

シートにボタンを追加します。



開発タブの挿入アイコンを押して、左上のボタンを選択して、シートの左上を囲みます。するとダイアログボックスが表示されて、ボタン1_Click のメソッドを作成できます。



ここで新規作成を押して、以下のソースを入力します。

```
Sub ボタン 1_Click()  
    '表内のクリア  
    Range("F6:G21").Select  
    Selection.ClearContents  
  
    '表のレンジ内を検索する  
    For Each sRange In Range("B8:B10")  
        MsgBox (sRange.Offset(0, 0))  
    Next  
End Sub
```

このプログラムを実行すると、メッセージボックスに「10」「13」「15」が続けて出力されます。これは、B8 から B10 までの中身をすべて検索して、表示しています。

Offset は、その選択されたオブジェクトからの相対位置を指定しています。
sRange.Offset(0,0)だと数字がでていましたが、これを Offset(0,1)にすると、初めての Mac などの文字のほうが表示されるようになります。改造してみましょう。

複製する位置を計算する

たとえば、B8 に 11 と入っていた場合、F6 を起点として $(11-10)*2$ 2つ分下にずればいいですね。つまり F6 から2つ下方向に入れたらいいですね。

12 ならば $(12-10)*2$ です。なので、4つ分下にずれたらいいわけです。これをプログラムにするとこうなります。

```
Sub ボタン 1_Click()
    '表内のクリア
    Range("F6:G21").Select
    Selection.ClearContents

    '表のレンジ内を検索する
    For Each srange In Range("B8:B10")
        If Not IsEmpty(srange.Value) Then
            Range("F6").Offset((srange.Value - 10) * 2, 0).Value _
                = srange.Offset(0, 1).Value
        End If
    Next
End Sub
```

isEmpty は数字が空の時は無視するためです。赤字の部分は半角スペースの後にアンダーバーを入力してから改行してください。

数字を入れ替えて実験してみましょう。

応用してみよう

では、次のような入力があった場合に、同様に右の欄に複製するプログラムを改造して作りましょう。自分で考えてやってみましょう。

作成

フェスタ タイムテーブル

1階セミナー会場

時	セミナー
10	初めてのMac
13	再生可能エネルギーフェア
15	スマホのセキュリティ

場内ミニ講座1番

時	ミニ講座
10	超初心者パソコンコーナー
12	Wordで年賀状
14	プログラミン講座

時	セミナー	ミニ講座
10	初めてのMac	超初心者パソコンコーナー
11		
12		Wordで年賀状
13	再生可能エネルギーフェア	
14		プログラミン講座
15	スマホのセキュリティ	
16		
17		